

静岡新聞

夕刊

10月19日(月)

静岡5社スクラム

静岡市内のタクシー会社5社が近く、学校や保育所、習い事先への子ども送迎、妊婦や小さな子ども連れ世帯の移動支援といった「子育てタクシー」事業に参入する。連携して子育て支援サービスを強化し地域のタクシー需要を掘り起こそうと、5社合同で運転手の研修会を開くなど、足並みをそろえて準備を進めている。

子育てタクシー



「子どもの視野は狭い。だからキョロキョロ周りを見渡すんですよ」。8日、同市葵区で開いた5社合同の研

修会で、全国子育てタクシー協会(横浜市)の波木井美由紀さんが認定ドライバー候補の運転手25人に呼び掛けた。研修では、救命救急や妊婦体験などを通じて、起こりうる事故を想定した上での安全対策を再確認した。

妊婦体験などを通して小さな子ども連れが乗車する場合の安全対策を見直すドライバーら8日、静岡市葵区

年内にも参入

子育てタクシーは、同協会が普及を進める事業で、全国約130社、県内は西部地域の2社が既に加盟している。今回参入するのは、同市葵区の千代田タク

る。

研修や実習を受けたドライバーが共通のワッペンを車両に貼って運行する。利用希望者は、事業所に事前登録しておけば、通常のタクシー料金と同額で利用できる。



需要拡大へ準備着々

シーと静岡ひかりタクシー、清水区の南急観光と静岡交通、さくらタクシー。「同じ地域のタクシー会社が一齐にサービスを始めた方が、提供できるエリアが広がり、利用者の利便性も増す」と、千代田タクシーの加藤高立社長は期待する。

地元の子育て支援団体の協力で11月末まで実習を行い、各社、年内にもサービスを開始する計画という。

5社の営業エリア「静岡交通圏」(静岡市)は、タクシーの供給過剰地域の営業台数を減車する国の制度で「特定地域」候補とされた全国29地域の一つ。地元タクシー業界で組織する協議会が減車に同意しなかったため特定地域に指定されていないが、需要拡大が求められている。

(石井祐子)